

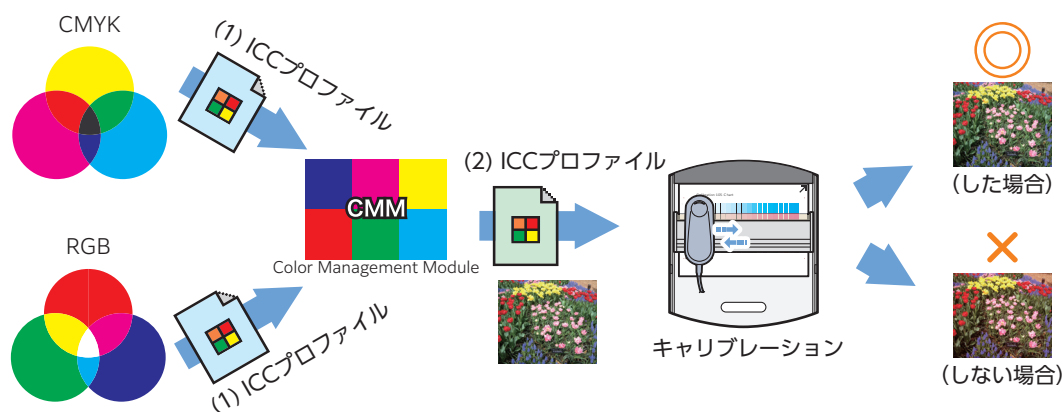
## 3 キャリブレーション

キャリブレーションとは、モニター、カラープリンターなどの色再現変動を補正し、常に安定した再現を得るための機能です。

- 3.1 キャリブレーションの実施 ..... P.66
- 3.2 キャリブレーションファイルの設定 ..... P.75
- 3.3 キャリブレーションターゲット ..... P.78
- 3.4 測色器での測色 ..... P.82

同じモニターでも個体差によって、色再現性が異なることがあります。また、設置環境や経時劣化によって、色再現が変動することがあり、カラープリンターもモニターと同様に色再現が変動し、出力結果が予想と異なることがあります。

このように色再現が変動している状態で、カラーマッチング処理をしても正確な色再現は得られません。カラーマッチングの前処理として、モニター、カラープリンターの機器ごとにキャリブレーションで色を補正することが必要です。



### 補足

- ICCプロファイルは、使用できるプロファイルの一例です。
- 管理者、またはオペレーターでログインしている場合だけ、操作できます。ユーザーでログインしている場合は、参照だけできます。

## ■キャリブレーション

プリンターは、使用環境やプリント枚数などによって、プリントされる色が変わります。プリンターでも、変化を補正する機能を持っていますが、プリントサーバーでは、さらに精度の高いキャリブレーションができます。

作成したキャリブレーションファイルは、任意の用紙トレイ、および任意のジョブに割り当てます。

### 補足

- あらかじめ割り当てられているキャリブレーションの標準ファイルは、キャリブレーション効果を持ちません。必ずキャリブレーションを実施し、キャリブレーションファイルの割り当てを行ってください。
- より良いプリント結果を得るには、少なくとも毎日1度はキャリブレーションをしてください。使用頻度が高い場合は、必要に応じて、1日に何度もキャリブレーションをしても問題ありません。
- キャリブレーション中は、受信ジョブはRIP処理されません。
- 夏季や冬季に空調設備を始動した直後は、室内環境が急激に変化するため、プリントされる色が変わることがあります。このようなときは、室内環境が安定してからキャリブレーションを実施し、プリントを開始してください。
- プリントされる色は、用紙そのものの色味の違いや、用紙表面の加工処理の違いに影響されます。使用する用紙を切り替える場合や、同じ用紙銘柄を使用するときでも、一定期間後に再プリントするジョブの場合、キャリブレーションを実施すると、より厳密な色の安定と再現につながります。
- 印刷、またはほかのプリンターとの色合わせのため、プロファイルを作成する場合には、プロファイル作成用チャートのプリント前にキャリブレーションを実施します。また、プロファイルを適用したプリント前にもキャリブレーションを実施すると、プロファイルが狙う色を再現できます。
- デフォルトのプロファイルを使用したプリントで、再プリントを予定している場合には、最初のプリント前にキャリブレーションを実施します。再プリント時にはキャリブレーションを実施してからプリントすると、再プリント時の色の

変動を抑えることができます。

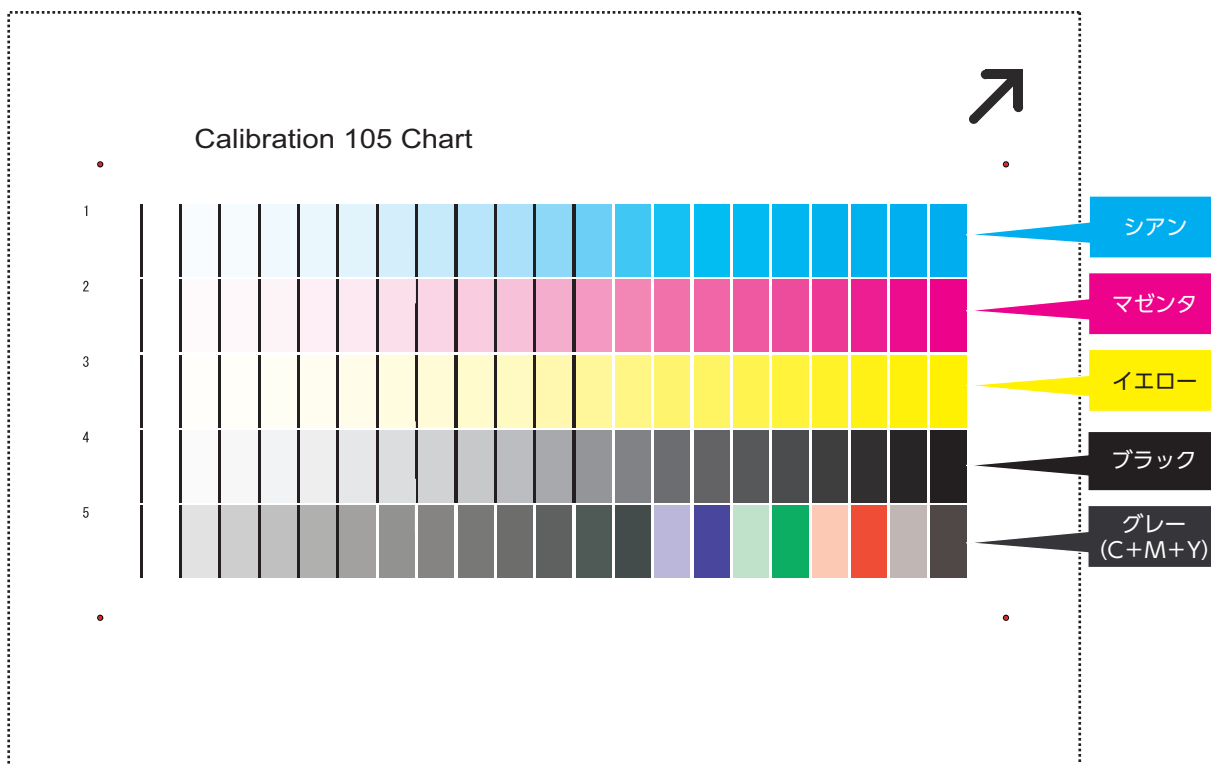
## ■ キャリブレーションチャート

キャリブレーションを実施するための測色用チャートをキャリブレーションチャートと呼びます。

### ■ Calibration 105 Chart

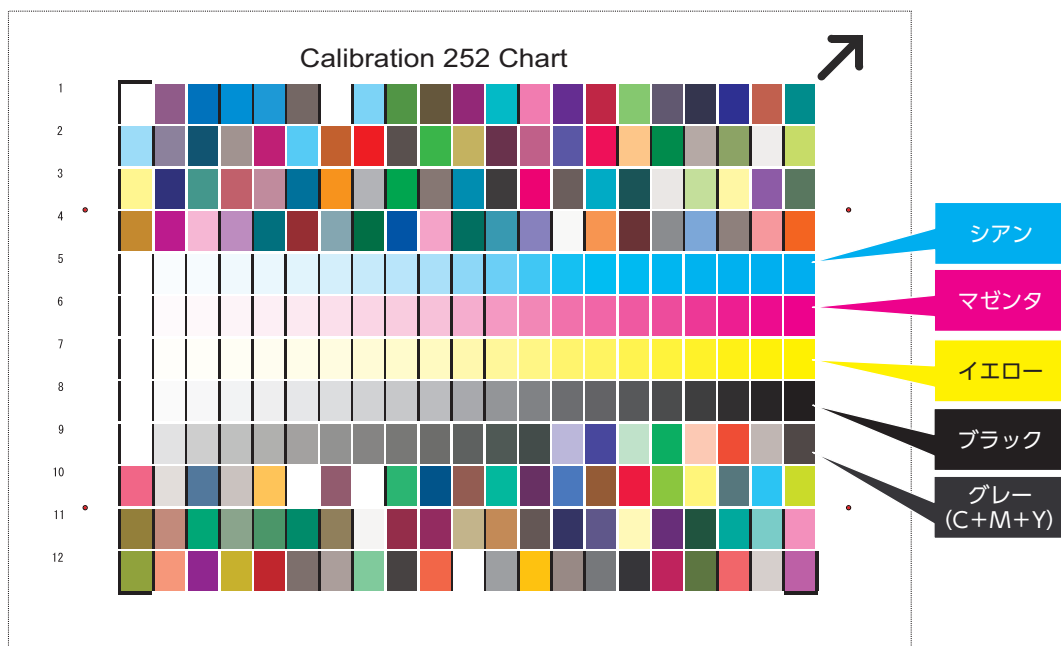
測色器を使用した単色キャリブレーション用チャートです。

CMYKがそれぞれ21分割に等間隔で並べられ、グレーはCMYで13分割に等間隔で重ねたものが並べられています。



■ Calibration 252 Chart

測色機を使用した3Dキャリブレーション用チャートです。

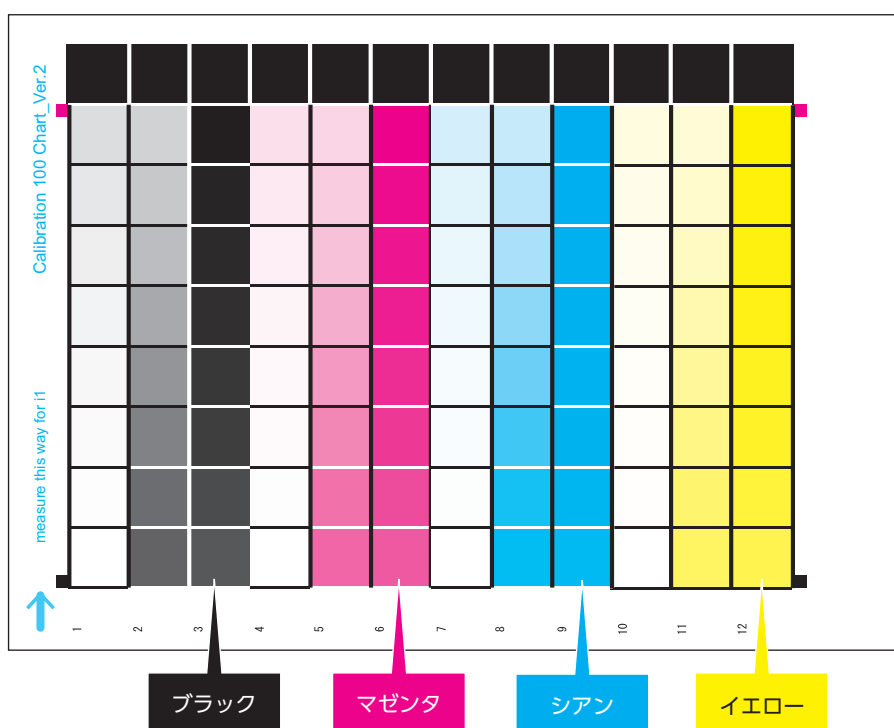


■ Calibration 100 Chart

インラインセンサーを使用した単色キャリブレーション用チャートです。

CMYKがそれぞれ24分割に並べられています。

単色用のキャリブレーションターゲット、およびスキャン調整ファイル作成用としても使用します。

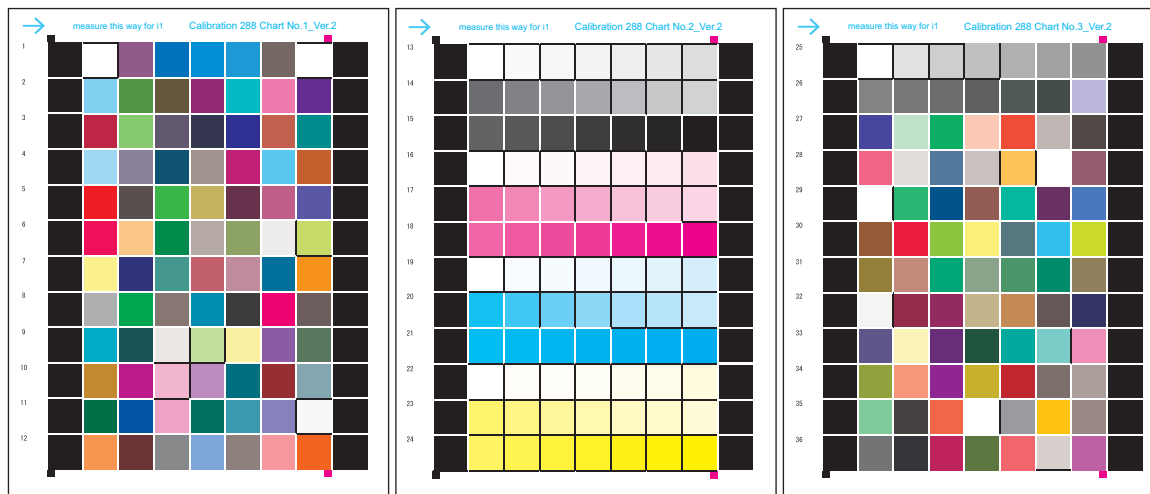


## ■ Calibration 288 Chart

インラインセンサーを使用した3Dキャリブレーション用チャートです。

3枚で1セットの構成になっています。

3D用のキャリブレーションターゲット、およびスキャン調整ファイル作成用としても使用します。



## ■ キャリブレーション方法

### ■ 単色キャリブレーション

単色階調の変動に応じて標準状態に補正するキャリブレーションです。

Calibration 105 Chartと測色器、またはCalibration 100 Chartとインラインセンサーを使用したキャリブレーションを実施できます。

### ■ 3Dキャリブレーション

多次色補正が可能な、単色キャリブレーションよりも高精度なキャリブレーション方法です。

Calibration 252 Chartと測色器、またはCalibration 288 Chartとインラインセンサーを使用したキャリブレーションを実施できます。

## ■ キャリブレーションの種類

### ■ 測色器キャリブレーション

測色器を使用して、キャリブレーションチャートを測色する方法です。



測色器キャリブレーションでは、「i1Pro 3」、「i1Pro 2」、または「i1iO 2」を使用してください。

### ■ インラインセンサーキャリブレーション

インラインセンサーを使用して、キャリブレーションチャートを測色する方法です。

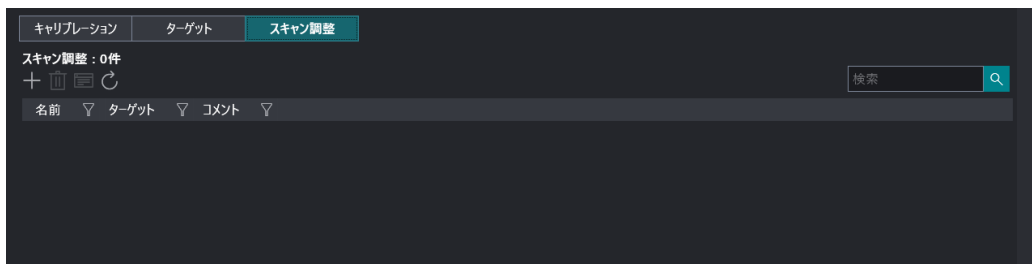
## 3.1 キャリブレーションの実施

### ■ スキャン調整

スキャン調整を実施すると、インラインセンサーキャリブレーションでキャリブレーションチャートを読み取るときに、より正確なデータを取得できます。

デフォルトで用意されているキャリブレーションターゲットを使用する場合、インラインセンサーの読み取り特性の補正、および用紙特性を正しく把握するため、用紙種類に合わせて実施します。新規に作成したキャリブレーションターゲットと同じ用紙を使用する場合、作成したキャリブレーションターゲットにインラインセンサーの読み取り特性の補正、および用紙特性が含まれているため、スキャン調整をする必要はありません。

メインメニューの [キャリブレーション] → [スキャン調整] を選択します。



#### ■ 補足

登録できるスキャン調整ファイルの数は、最大100個です。

#### ■ + (新規)

新しいスキャン調整ファイルを作成します。

#### ■ 🗑️ (削除)

選択したスキャン調整ファイルを削除します。

#### ■ 📄 (プロパティ)

選択したスキャン調整ファイルの [名前]、および [コメント] を変更します。

#### ■ 🔄 (リストの更新)

リストが最新の状態に更新されます。

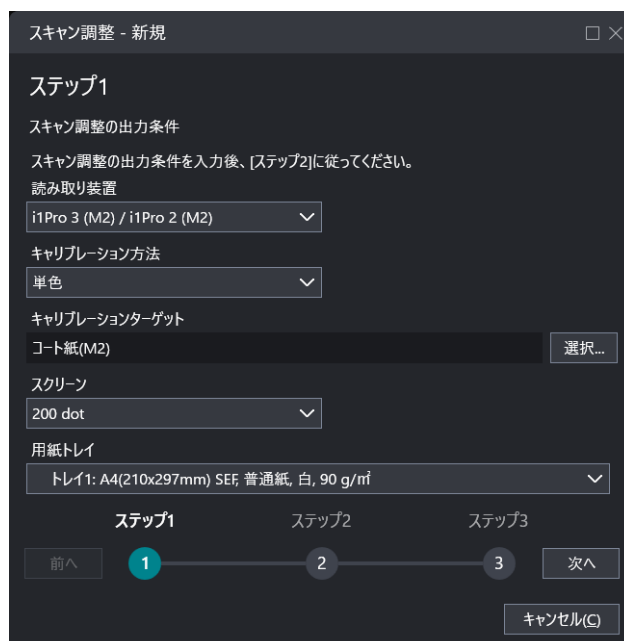
#### ■ 検索

入力した文字を含むファイルが検索され、表示されます。検索結果を解除するには、[×] をクリックします。

### ■ スキャン調整ファイルの新規作成

1. (新規) をクリックします。

## 2. 項目を設定し、[次へ] をクリックします。



### ■ 読み取り装置

読み取り装置として使用する測色器を選択します。

#### 補足

- デフォルトで用意されているキャリブレーションターゲットを使用するときは、M2を選択してください。
- 作成したキャリブレーションターゲットを使用するときは、作成時の測色方法（M0/M2）を選択してください。

### ■ キャリブレーション方法

キャリブレーション方法を選択します。

### ■ キャリブレーションターゲット

このキャリブレーションで最終目的とするキャリブレーションターゲットを選択します。

[選択] をクリックして、キャリブレーションターゲットを選択します。

デフォルトでは、紙質によって次のキャリブレーションターゲットを用意しています。

#### コート紙（M2）

コート紙用のキャリブレーションターゲットです。

#### 非コート紙（M2）

非コート紙用のキャリブレーションターゲットです。

#### 補足

- [非コート紙（M2）] はJ紙で82 g/m<sup>2</sup>を、[コート紙（M2）] はOKトップコート+紙で127 g/m<sup>2</sup>を想定しています。使用する紙質に、より近いキャリブレーションターゲットを選択してください。
- 独自のキャリブレーションターゲットを作成して登録している場合は、それらのキャリブレーションターゲットを選択できます。
- キャリブレーションターゲットの設定方法については、「3.3 キャリブレーションターゲット」(P.78) を参照してください。

単色で作成されたキャリブレーションターゲットを選択したときは、単色キャリブレーションファイルだけを作成できます。

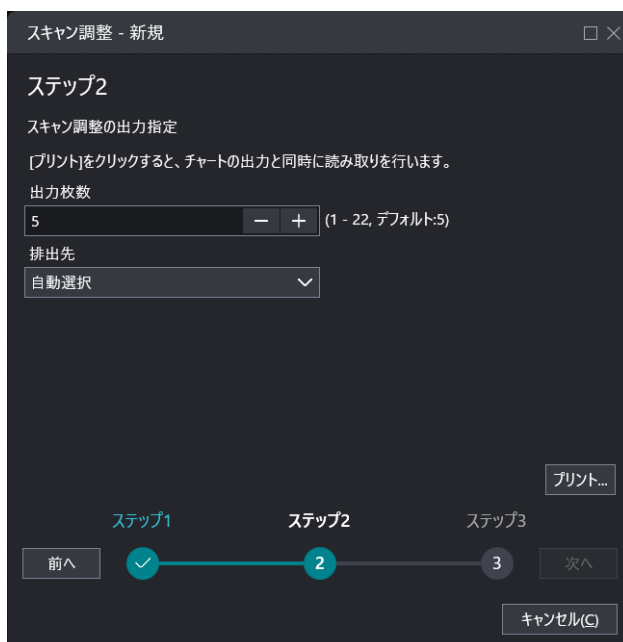
### ■ スクリーン

出力スクリーンを選択します。

### ▪ 用紙トレイ

スキャン調整チャートをプリントする用紙トレイを選択します。選択する用紙トレイには、キャリブレーション対象用紙をセットしてください。

3. スキャン調整チャートをプリントする場合は、[出力枚数] と [排出先] を選択し、[プリント] をクリックします。



チャートのプリントと同時にスキャンが開始され、スキャン調整ファイルが作成されます。

#### 補足

- A4たて置き以上のよこサイズの用紙をあらかじめセットしておいてください。
- プリントする部数は、プリントを安定させるためにデフォルトの部数以上をお勧めします。
- 最後にプリントされたスキャン調整チャートの各パッチに、汚れや濃度むらがないことを確認してください。汚れなどがあつた場合は、再度プリントしてください。

4. [次へ] をクリックします。

## 5. スキャン調整チャートの測色方法を選択します。



【測色ファイルを使用する】を選択したときは、【参照】をクリックして、あらかじめ保存した測色データファイルを選択します。

## 6. 【スタート】をクリックします。

【測色アプリケーションを使って測色する】を選択したときは、Color Measurement Utility が起動します。画面の指示に従って、測色を行ってください。

### 補足

・A4 サイズより大きな用紙でスキャン調整チャートをプリントすると、そのままでは測定用バックアップボードとチャート測定用ルーラーを使った測色できません。測色用バックアップボードに入る大きさに、スキャン調整チャートを切り取ってから測色してください。

### 6.2 参照

測色方法については、「3.4 測色器での測色」(P.82) を参照してください。

## 7. 必要に応じて【スキャン調整ファイル名】、および【コメント】を入力し、【保存】をクリックします。

### 補足

【スキャン調整ファイル名】には48文字、【コメント】には80文字まで入力できます。

## ■ キャリブレーションファイルの新規作成

用紙トレイ、またはプリントに適用するキャリブレーションファイルを作成します。作成したキャリブレーションファイルは、プリント時にジョブプロパティで選択できます。

### 補足

登録できるキャリブレーションファイルの数は、最大100個です。

### 6.2 参照

ジョブプロパティでの選択方法は、「ジョブプロパティ編」の「7.1 画質調整」を参照してください。

## 1. キャリブレーション管理画面で、**+** (新規) をクリックします。



## 68 参照

キャリブレーション管理画面については、「3.2 キャリブレーションファイルの設定」(P.75)を参照してください。

### 2. キャリブレーションの読み取り装置をクリックします。



## 補足

- リンクメニューの [設定] アイコン → [システム設定] → [キャリブレーション設定] → [測色装置の選択設定] で、[通常使用する測色装置を登録する] にチェックが付いているときは、読み取り装置は [測色装置の選択設定] で設定されている装置が使用され、手順3に進みます。
- [キャリブレーション設定] については、『サーバー設定編』の「4.7 キャリブレーション設定」を参照してください。

#### ■ 測色器

測色器キャリブレーションを行います。

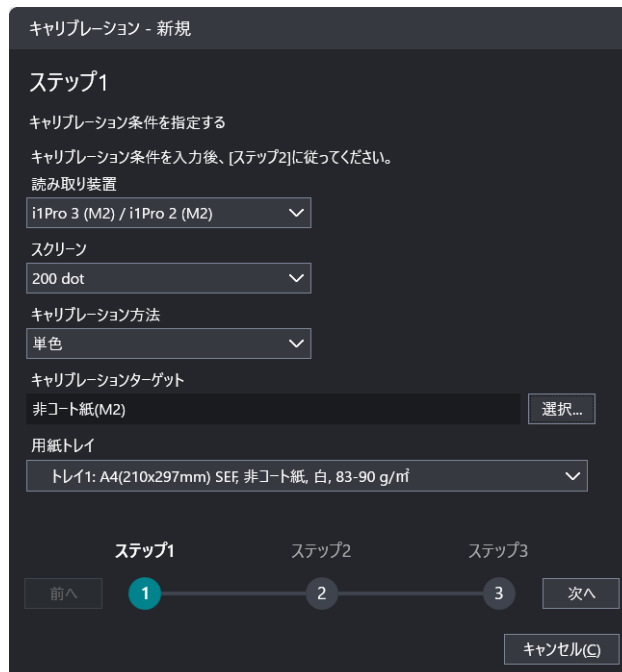
#### ■ インラインセンサー

インラインセンサーキャリブレーションを行います。

## 補足

安定したスキャンを行うため、プリンター本体が安定した状態で実施してください。

### 3. 各項目を設定し、[次へ] をクリックします。



## ■ 読み取り装置

手順2で [測色器] を選択したとき、読み取り装置として使用する測色器を選択します。

- i1Pro 3 (M0) /i1Pro 2 (M0)
- i1Pro 3 (M2) /i1Pro 2 (M2)
- i1iO 2 (M0)
- i1iO 2 (M2)

### 補足

- デフォルトで用意されているキャリブレーションターゲットを使用するときは、M2を選択してください。
- 作成したキャリブレーションターゲットを使用するときは、作成時の測色方法 (M0/M2) を選択してください。

## ■ スクリーン

出力スクリーンを選択します。

## ■ キャリブレーション方法

キャリブレーション方法を選択します。

## ■ キャリブレーションターゲット

このキャリブレーションで最終目的とするキャリブレーションターゲットを選択します。

[選択] をクリックして、キャリブレーションターゲットを選択します。

デフォルトでは、紙質によって次のキャリブレーションターゲットを用意しています。

### ○ コート紙 (M2)

コート紙用のキャリブレーションターゲットです。

### ○ 非コート紙 (M2)

非コート紙用のキャリブレーションターゲットです。

### 補足

- [非コート紙 (M2)] はJ紙で82 g/m<sup>2</sup>を、[コート紙 (M2)] はOKトップコート+紙で127 g/m<sup>2</sup>を想定しています。使用する紙質に、より近いキャリブレーションターゲットを選択してください。
- 独自のキャリブレーションターゲットを作成して登録している場合は、それらのキャリブレーションターゲットを選択できます。  
キャリブレーションターゲットの設定方法については、「3.3 キャリブレーションターゲット」(P.78) を参照してください。

単色で作成されたキャリブレーションターゲットを選択したときは、単色キャリブレーションファイルだけを作成できます。

## ■ 用紙トレイ

キャリブレーションチャートをプリントする用紙トレイを選択します。選択する用紙トレイには、キャリブレーション対象用紙をセットしてください。

## 4. 各項目を設定し、測色を開始します。

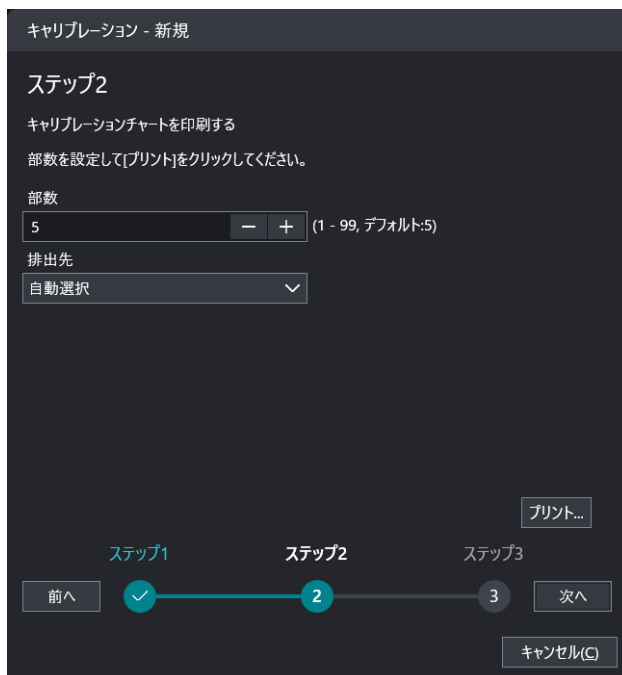
### 補足

- 用紙トレイにA4サイズ以上の用紙をあらかじめセットしておいてください。また、インラインセンサーキャリブレーションでは、A4 たて置き以上のよこサイズの用紙をあらかじめセットしておいてください。
- プリントする部数は、プリントを安定させるためにデフォルトの部数以上をお勧めします。
- 最後にプリントされたキャリブレーションチャートの各パッチに、汚れや濃度むらがないことを確認してください。汚

れなどがあつた場合は、再度プリントしてください。

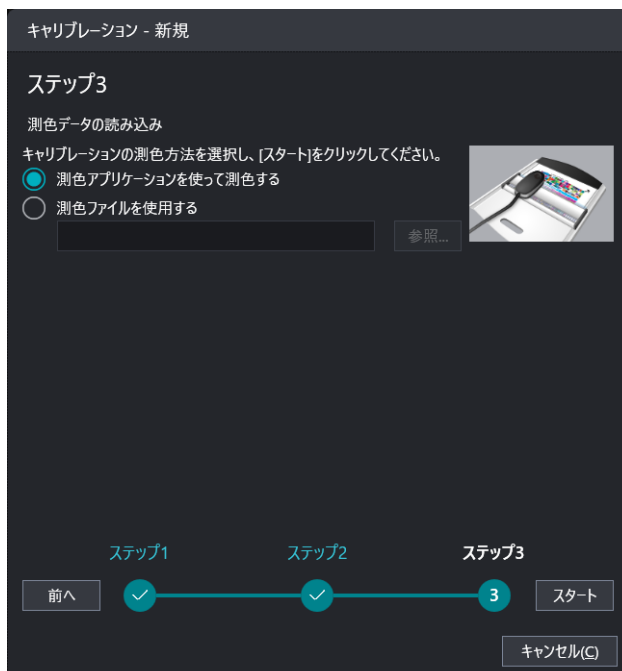
## ■ [測色機] を選択した場合

(1) [部数] と [排出先] を選択し、[プリント] をクリックします。



(2) キャリブレーションチャートがプリントされたら、[次へ] をクリックします。

(3) キャリブレーションチャートの測色方法を選択します。



[測色ファイルを使用する] を選択したときは、[参照] をクリックして、あらかじめ保存した測色データファイルを選択します。

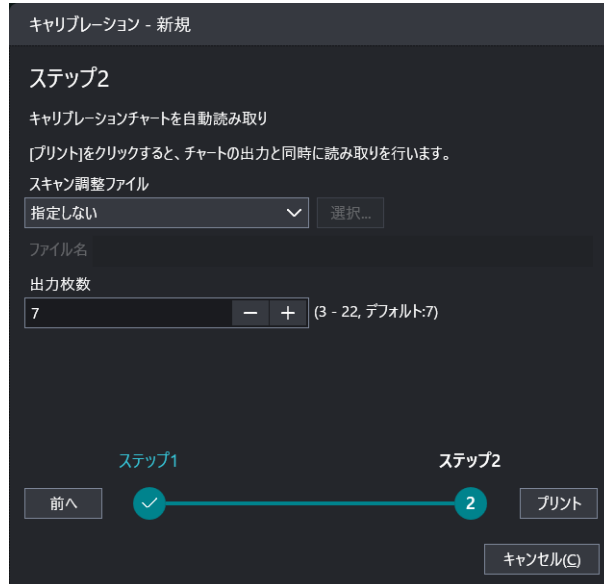
(4) [スタート] をクリックします。

[測色アプリケーションを使って測色する] を選択したときは、Color Measurement Utilityが起動します。画面の指示に従って、測色を行ってください。

測色方法については、「3.4 測色器での測色」(P.82)を参照してください。

## ■ [インラインセンサー] を選択した場合

- (1) スキャン調整ファイルを指定するときは、[スキャン調整ファイル] で [ファイルを選択] を選択したあと、[選択] をクリックして、使用するスキャン調整ファイルを選択します。



- (2) [出力枚数] を選択し、[プリント] をクリックします。

5. [結果表示] ダイアログボックスに表示された結果に問題がないときは、[保存と割り当て] をクリックします。

	初回	2回目以降
単色		



[平均色差]、または [全域平均色差] の値、および [濃度] の青い線の形状を確認します。  
 グラフをダブルクリックすると、グラフ部分が拡大表示されます。

### ■ 繰り返し処理 (初回は [確認])

キャリブレーションが繰り返されます。

作成したキャリブレーションファイルをプリントに適用して確認する場合、またはより正確なキャリブレーションファイルを作成するときに使用します。

#### 補足

青い線が大きく波打ちたり、最大点 (右端) が赤い線の最大点を大きく下回ったりする場合、[平均色差]、または [全域平均色差] の値が大きい場合には、繰り返し処理を行ってください。

### ■ 表示結果の保存と割り当て

繰り返し処理後の結果表示画面に表示されます。

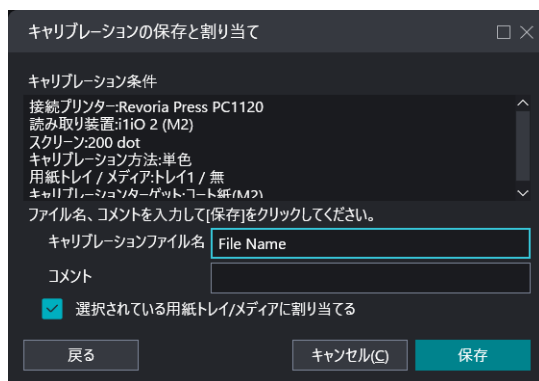
結果表示画面で確認した精度のキャリブレーションファイルが保存されます。

### ■ 保存と割り当て

キャリブレーションが初回の場合は、繰り返し処理をせずにキャリブレーション結果が保存されます。

繰り返し後に作成されたキャリブレーション精度を結果表示画面で確認せずに保存します。

## 6. 必要に応じて、[キャリブレーションファイル名]、および [コメント] を入力し、[保存] をクリックします。



### 補足

- ・ [キャリブレーションファイル名] には48文字、[コメント] には80文字まで入力できます。
- ・ キャリブレーションファイルを作成しただけではプリントに反映されません。プリントにキャリブレーションを反映させるには、用紙トレイ、またはジョブに、キャリブレーションファイルを割り当てる必要があります。
- ・ [選択されている用紙トレイ/メディアに割り当てる] にチェックが付いていると、ファイルの保存と同時にファイルの割り当てが行われます。  
チェックを外したときは、あとから「キャリブレーションファイルの割り当て」(P.77) で割り当てることもできます。

## 3.2 キャリブレーションファイルの設定

メインメニューの [キャリブレーション] → [キャリブレーション] を選択します。

トレイ	用紙	メディア	キャリブ
手差しトレイ	A4(210x297mm) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		*標準
トレイA2-1	A4(210x297mm) LEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>	sample2	*標準
トレイA2-2	A4(210x297mm) LEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>	sample2	*標準
トレイA1-1	A3(297x420mm) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		*標準
トレイA1-2	8.5x11"(レター) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>	sample1	*標準
トレイ1	A4(210x297mm) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		File N

### 補足

- ・ [カラーリソース] → [CMS] をクリックし、Color Management System Workflowで [キャリブレーション] をクリックしても、キャリブレーション管理画面を表示できます。
- ・ あらかじめ割り当てられているキャリブレーションの標準ファイルは、キャリブレーション効果を持ちません。

- **+** (新規)  
新しいキャリブレーションファイルを作成します。

- **🗑️** (削除)  
選択したキャリブレーションファイルを削除します。

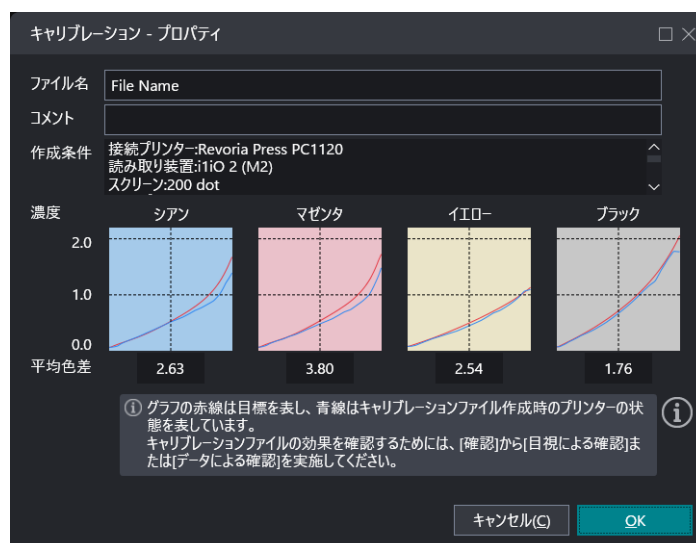
### 補足

割り当てられているキャリブレーションファイルを削除した場合、「標準」が割り当てられます。

- **更新**  
選択したキャリブレーションファイルを、新規作成と同じ手順で編集します。  
作成条件、および割り当て状態は変更されずに、選択したキャリブレーションファイルが更新されます。
- **確認**  
キャリブレーションファイルの状態を確認できます。  
キャリブレーションファイルの適用前と適用後の状態を目視で確認する方法と、キャリブレーションファイルの適用後の状態をデータで確認する方法があります。
- **一世代戻す**  
更新機能を使ってキャリブレーションファイルを最新の状態にしている場合など、これまでと色再現が変わってしまったときに、前回作成時のキャリブレーションの状態に戻すことができます。  
色再現が変わってしまったときは、[一世代戻す] を実行してから、再度キャリブレーションファイルを更新してください。

## ■ (プロパティ)

選択したキャリブレーションファイルを作成したときの状態が表示されます。また、[ファイル名]、[コメント] を変更できます。



表示されたグラフの青線は、キャリブレーションファイルを適用しないプリンターの状態を表しています。このファイルを適用したときの効果は、[確認] で確認してください。グラフをダブルクリックすると、グラフ部分が拡大表示されます。

## ■ (リストの更新)

リストが最新の状態に更新されます。

## ■ 検索

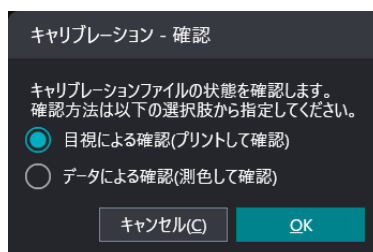
入力した文字を含むキャリブレーションファイルが検索され、表示されます。検索結果を解除するには、[×] をクリックします。

## ■ 割り当て、全てに割り当て

選択したキャリブレーションファイルを、用紙トレイに割り当てます。

# ■ キャリブレーションファイルの確認

1. キャリブレーション管理画面で、確認するファイルを選択し、[確認] をクリックします。
2. 確認方法を選択し、[OK] をクリックします。



## ■ 目視による確認 (プリントして確認)

キャリブレーションファイルの適用前後のサンプルをプリントして、目視で比較できます。キャリブレーション

ョンの効果を確認できます。  
各項目を設定し、[プリント] をクリックします。

キャリブレーション - 目視による確認

キャリブレーションファイル File Name

キャリブレーション条件  
読み取り装置:i1iO 2 (M2)  
スクリーン:200 dot  
キャリブレーション方法:単色  
キャリブレーションターゲット:コート紙(M2)  
用紙トレイ / メディア:トレイ1 / 無

用紙トレイを選択してください

用紙トレイ トレイ1: A4(210x297mm) SEF, 普通紙, 白, 90 g/m<sup>2</sup>

出力チャート選択  
 カラーチャート  サンプル画像

キャンセル(C)    プrint(P)

### ■ 用紙トレイ

効果確認サンプルをプリントする用紙トレイを選択します。



A4サイズ以上の用紙がセットされた用紙トレイを選択してください。

### ■ 出力チャート選択

#### カラーチャート

チェックを付けると、カラーチャートをプリントします。

#### サンプル画像

チェックを付けると、サンプル画像をプリントします。

### ■ データによる確認（測色して確認）

キャリブレーションファイルを適用したチャートを再度測色することで、ターゲットに対してどれだけ一致しているかを確認できます。

選択したキャリブレーションファイルを、新規作成と同じ手順で確認します。

## ■ キャリブレーションファイルの割り当て

1. 割り当てるキャリブレーションファイルと、用紙トレイ（複数選択できます）をそれぞれ選択し、[割



り当て] をクリックします。

名前	用紙種類	スクリーン	実施日時	更新日時
File Name	普通紙(非コート)	200 dot	2021/02/15 14:27:01	2021/02/15 14:27:01

トレイ	用紙	メディア	キャリブ
手差しトレイ	A4(210x297mm) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		*標準
トレイA2-1	A4(210x297mm) LEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>	sample2	*標準
トレイA2-2	A4(210x297mm) LEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>	sample2	*標準
トレイA1-1	A3(297x420mm) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		*標準
トレイA1-2	8.5x11"(レター) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>	sample1	*標準
トレイ1	A4(210x297mm) SEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		File N
トレイ2	A4(210x297mm) LEF 普通紙 白 90 g/m <sup>2</sup>		*標準

【全てに割り当て】 をクリックすると、選択されたキャリブレーションファイルがすべての用紙トレイに割り当てられます。

## 2. 【はい】 をクリックします。

### 補足

- トレイに割り当てられたファイルを、キャリブレーションの標準ファイルに戻すには、トレイを選択して【標準に戻す】 をクリックしてください。
- 用紙トレイにメディアが割り当てられているときは、トレイとメディアの両方に割り当たります。メディアに割り当たっているキャリブレーションファイルを変更するときは、『サーバー設定編』の「5.8 メディアライブラリー」を参照してください。
- 同じメディアが複数のトレイに割り当てられていて、そのうち1つのトレイにキャリブレーションファイルを割り当てると、同じメディアが割り当てられているすべてのトレイで割り当てのファイルが変更されます。(キャリブレーションの標準ファイルに戻したときも同様)

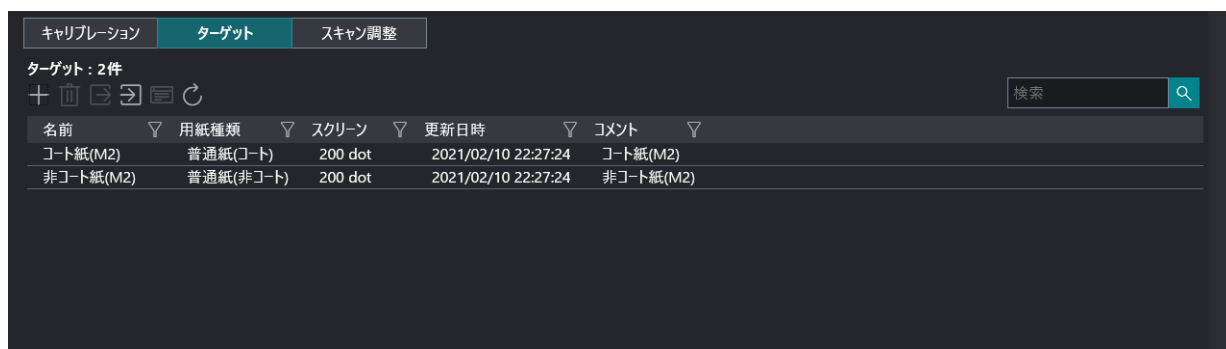
## 3.3 キャリブレーションターゲット

プリントで使用する用紙専用カスタマイズしたキャリブレーションターゲットを作成できます。作成したキャリブレーションターゲットを使用することで、用紙の特性をより生かしたプリントができます。作成したキャリブレーションターゲットは、キャリブレーションファイルを作成するときに、【キャリブレーションターゲット】 で選択できます。


### 補足

- 紙質によって2種類のキャリブレーションターゲットを用意しています。
- キャリブレーションターゲットを作成するためには、「i1Pro 3」、 「i1Pro 2」、または「i1iO 2」が必要です。
- 登録できるキャリブレーションターゲットの数は、最大100個です。

メインメニューの [キャリブレーション] → [ターゲット] を選択します。





-  **(新規)**  
新しいキャリブレーションターゲットファイルを作成します。


-  **(削除)**  
選択したキャリブレーションターゲットファイルを削除します。

 **補足**

キャリブレーションファイルの作成時に選択したキャリブレーションターゲットファイルを削除すると、キャリブレーションファイルの更新や確認ができなくなりますので、注意してください。


-  **(保存)**  
指定した場所に、選択したキャリブレーションターゲットファイルを保存します。  
保存したキャリブレーションターゲットファイルは、別のプリントサーバーでも使用できます。

-  **(読み込み)**  
キャリブレーションターゲットファイルを読み込みます。

-  **(プロパティ)**  
選択したキャリブレーションターゲットファイルの [名前]、および [コメント] を変更します。

 **補足**

キャリブレーションターゲットファイルの名称を変更すると、キャリブレーションファイルの作成では、ファイルを選択し直す必要があります。キャリブレーションの更新では、キャリブレーションができません。

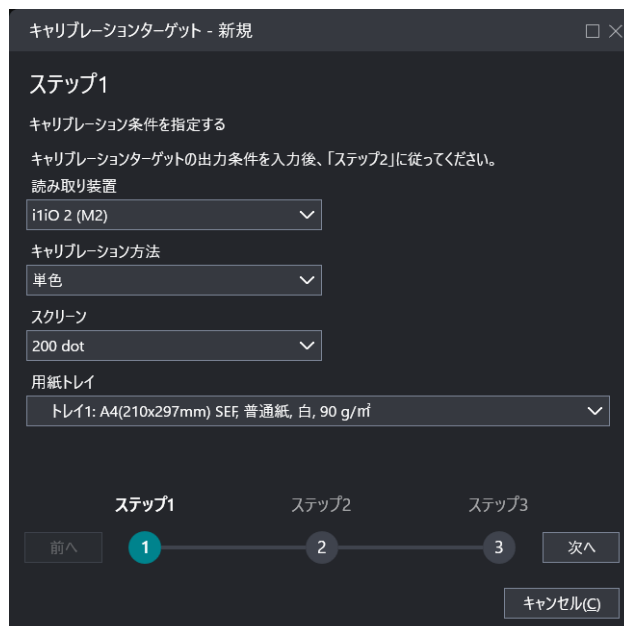
-  **(リストの更新)**  
リストが最新の状態に更新されます。

- **検索**  
入力した文字を含むキャリブレーションターゲットファイルが検索され、表示されます。検索結果を解除するには、[×] をクリックします。

## ■ キャリブレーションターゲットファイルの新規作成

1.  **(新規)** をクリックします。

## 2. 各項目を設定し、[次へ] をクリックします。



### ■ 読み取り装置

読み取り装置として使用する測色器を選択します。

- i1Pro 3 (M0) /i1Pro 2 (M0)
- i1Pro 3 (M2) /i1Pro 2 (M2)
- i1iO 2 (M0)
- i1iO 2 (M2)

### ■ キャリブレーション方法

キャリブレーション方法を選択します。

### ■ スクリーン

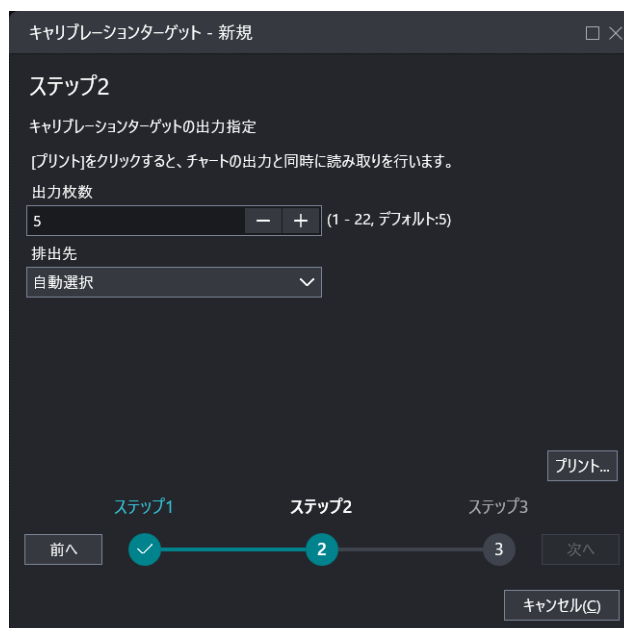
出力スクリーンを選択します。

### ■ 用紙トレイ

ターゲット作成用チャートをプリントする用紙トレイを選択します。選択する用紙トレイには、ターゲット作成の対象用紙をセットしてください。

## 3. ターゲット作成用チャートをプリントする場合は、[部数] と [排出先] を選択し、[プリント] を

クリックします。

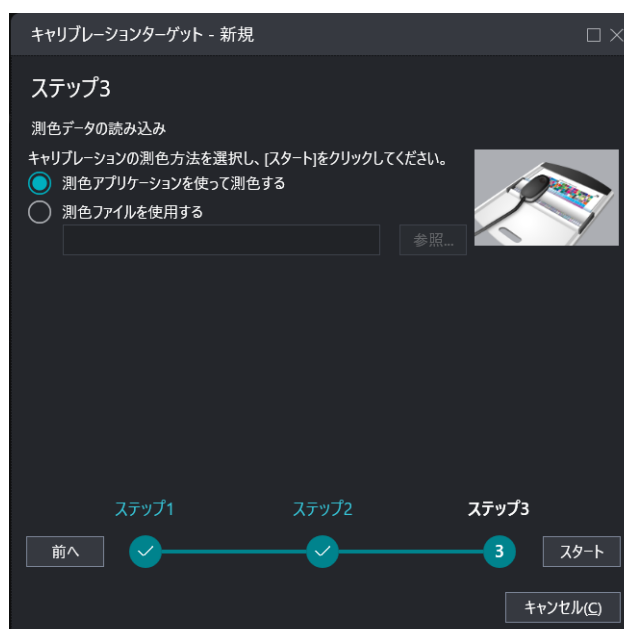


#### 補足

- A4たて置き以上のよこサイズの用紙をあらかじめセットしておいてください。
- プリントする部数は、プリントを安定させるためにデフォルトの部数以上をお勧めします。
- 最後にプリントされたキャリブレーションターゲット作成用チャートに、汚れや濃度むらがないことを確認してください。汚れなどがあつた場合は、再度プリントしてください。

4. ターゲット作成用チャートがプリントされたら、[次へ] をクリックします。

5. ターゲット作成用チャートの測色方法を選択します。



[測色ファイルを使用する] を選択したときは、[参照] をクリックして、あらかじめ保存した測色データファイルを選択します。

6. [スタート] をクリックします。

[測色アプリケーションを使って測色する] を選択したときは、Color Measurement Utilityが起動します。画面の指示に従って、測色を行ってください。

## 68 参照

測色方法については、「3.4 測色器での測色」(P.82)を参照してください。

7. 必要に応じて [キャリブレーションターゲット名]、および [コメント] を入力し、[保存] をクリックします。

## 補足

- [キャリブレーションターゲット名] には48文字、[コメント] には80文字まで入力できます。
- 作成したキャリブレーションターゲットを使用してキャリブレーションをする場合は、ターゲットを作成したときの測色方法 (M0/M2) を選択する必要があります。そのため、ファイル名 (または、コメント) に測色方法を入れておくことをお勧めします。

## 3.4 測色器での測色

キャリブレーションチャートやデバイスリンクプロファイル、特色の作成時の測色には、「i1Pro 3」、「i1Pro 2」、または「i1iO 2」が使用できます。プリントサーバーで測色器を使用した測色を行う場合、Color Measurement Utilityが起動します。

## 補足

i1Pro 3、およびi1Pro 2は精密機器です。使用したあとは、損傷やほこりによる影響を避けるため、i1Pro 3、およびi1Pro 2は専用のケースで保管してください。

### プリントサーバーの設定

オーディオケーブルが接続されていないプリントサーバーでは、測色の開始や終了などを知らせるビープ音が出ません。ビープ音が出ないときは、必要に応じて、画面で測色の進行状態が通知されるための設定を行います。

1. Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] → [コンピューターの簡単操作センター] → [音を視覚的な合図に置き換える設定] を選択します。
2. [サウンドを視覚的な通知へ置き換えます (サウンド表示)] にチェックを付け、[アクティブ ウィンドウを点滅させます] を選択します。

## 補足

[デスクトップを点滅させます] を選択すると、エラーが発生したときに、画面全体が点滅する設定に変更できます。ただし、[デスクトップを点滅させます] を選択すると、i1Pro 3の測色以外の操作でも、画面全体が点滅します。

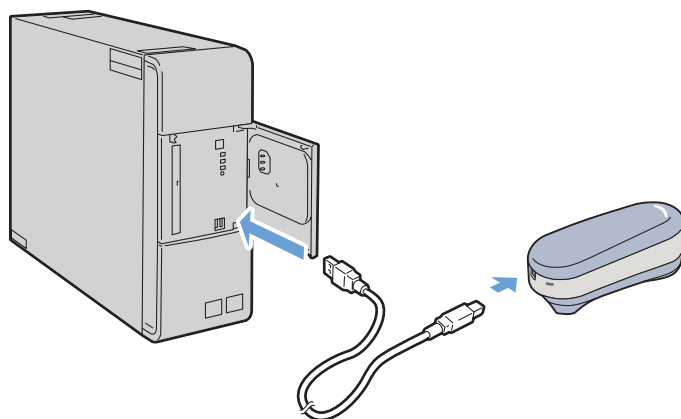
3. [OK] をクリックします。

### 測色をするときの注意点

- 測色するときは、i1Pro 3、またはi1Pro 2に付属のチャート測定用ルーラーと測定用バックアップボードを必ず使用してください。フリーハンドで測色を行うと、正しい測色結果にならないことがあります。
- 測色をするときは、測色するチャートと測色器の間に光が入らないように平らな場所で行ってください。
- 測色器の調整に使用する白色板と測色器は、1対1の組み合わせになっています。白色板を紛失すると、測色器が使用できませんので、白色板を紛失しないように注意してください。
- ほかの測色器のパッケージに付属の白色板を使用しても、正確な調整ができません。必ず、使用する測色器のパッケージに付属の白色板を使用してください。

## 測色器の接続

プリントサーバーの背面、または前面のUSBコネクタに、測色器を接続します。



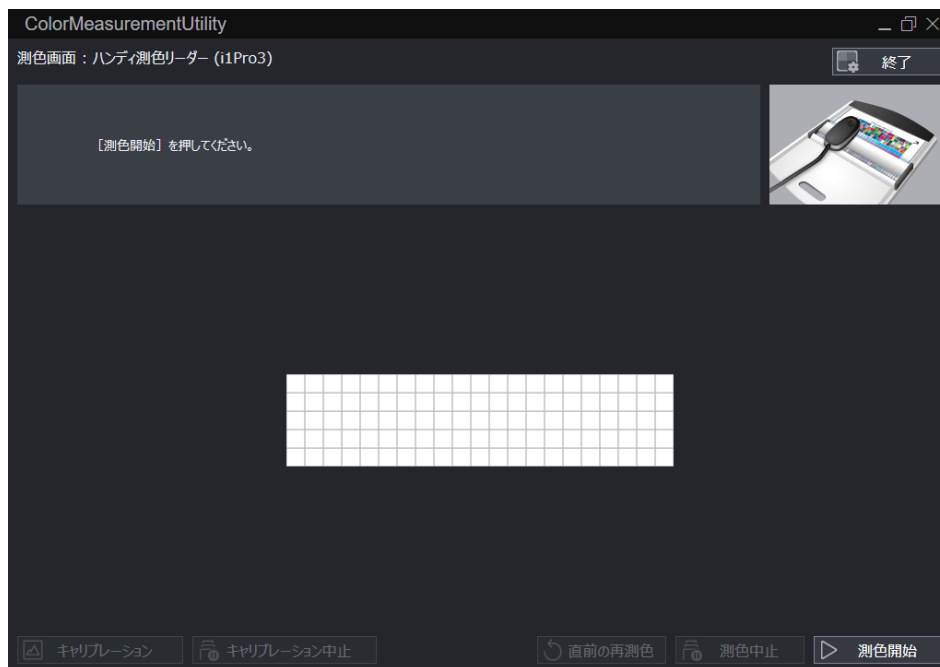
### 補足

出荷時には、測色器の下側のスライド速度センサーにシールが貼ってあります。このシールをはがしてから測色してください。

## Color Measurement Utilityでの測色手順

### i1Pro 3、またはi1Pro 2での測色

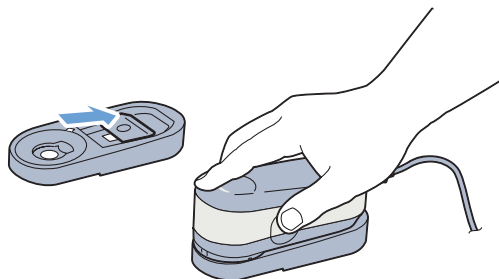
1. 測色条件を確認し、[測色開始] をクリックします。



[終了] をクリックすると、Color Measurement Utilityが終了します。

2. i1Pro 3、またはi1Pro 2のキャリブレーションをします。
  - (1) 付属の白色板の保護カバーを開け、白色板にi1Pro 3、またはi1Pro 2をセットします。

測色器の調整に使用する白色板と測色器は、1対1の組み合わせになっています。

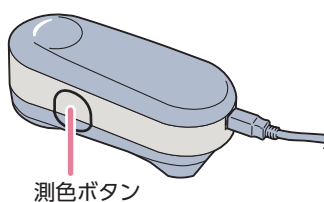


#### 補足

保護カバーが閉じたままでは、i1Pro 3、またはi1Pro 2のキャリブレーションができません。

#### (2) 測色ボタンを押します。

終了メッセージが表示されたら、キャリブレーションは終了です。



#### 補足

終了メッセージが表示されるまで、i1Pro 3、またはi1Pro 2を動かさないでください。

#### 3. メッセージに従って、チャートを測色します。

ダイアログボックス上部に表示されるメッセージに従って、チャートを測色します。

測色時の裏写りを防ぐため、チャートの下に、チャートと同じサイズの白紙を5枚以上敷いて測色します。

#### 参照

チャートの測色については、「キャリブレーションチャートの測色」(P.85)を参照してください。

#### 4. [測色完了] をクリックします。

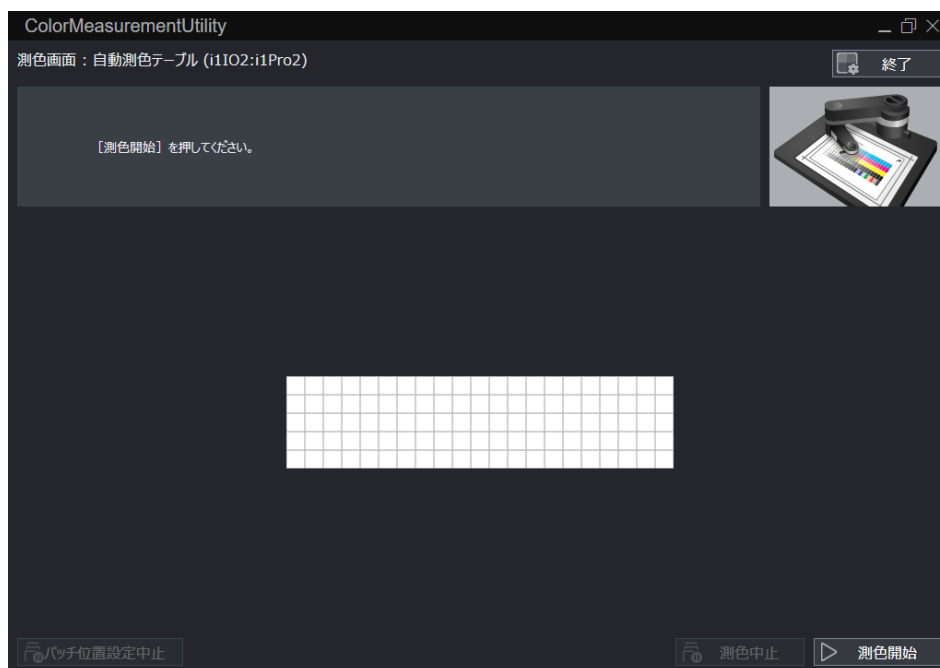
## i1i0 2での測色

#### 補足

Color Measurement Utilityが対応しているi1i0 2のファームウェアは、1.07以降です。

i1i0 2のファームウェアについては、X-Rite社のホームページをお読みください。

### 1. 測色条件を確認し、[測色開始] をクリックします。



### 2. メッセージに従って、パッチ位置を設定します。

必ず3点 (左上、左下、右下) の位置を測定します。

### 3. 測定したパッチ位置に問題ないときは、表示されるメッセージで [はい] をクリックします。

測色は自動で行われます。

### 4. [測色完了] をクリックします。

## キャリブレーションチャートの測色

- Calibration 105 Chartでは、CMYKの色をC→M→Y→K→グレーの順に測色します。(左右どちらからでも測色可能)
- Calibration 252 Chartでは、各列の番号順に測色します。(左右どちらからでも測色可能)

#### 6d 参照

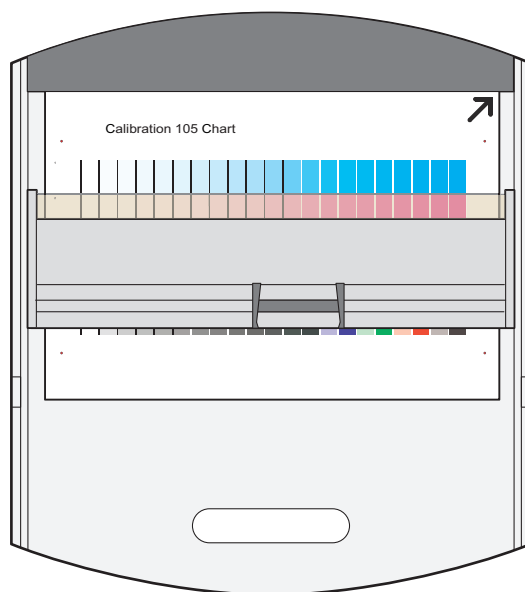
キャリブレーションチャートについては、「キャリブレーションチャート」(P.63) を参照してください。

i1Pro 3 (M2) で、Calibration 105 Chartを、左から右へと測色する場合を例に説明します。

### 1. 測定用バックアップボードの中心にキャリブレーションチャートをセットし、その上にチャート測



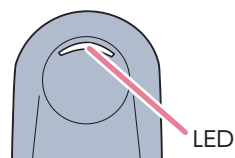
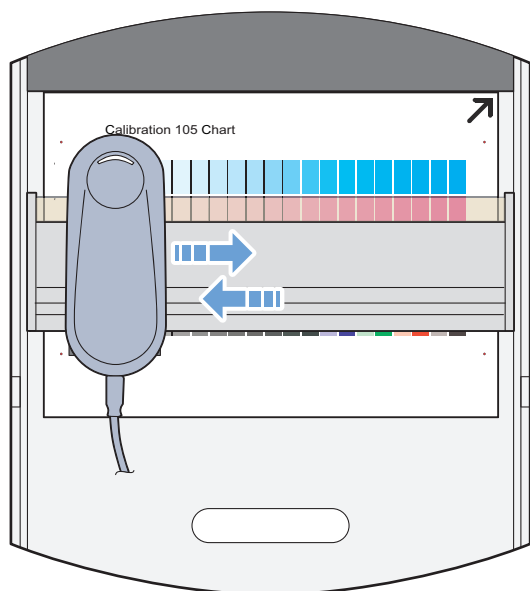
定用ルーラーをのせます。



**補足**

- 測色するときは、測色するチャートの下に、チャートと同じサイズの白紙を5枚以上敷いてください。
- キャリブレーションチャートをA4サイズ以上でプリントした場合は、バックアップボードにのせるために破線で切り取ってください。

2. チャート測定用ルーラーを測定第1列目のシアンパッチの破線に合わせて、水平移動します。シアンから測定します。
3. チャート測定用ルーラーにi1Pro 3をセットし、i1Pro 3を左端破線の位置に移動します。



測色前には、LEDが白で点滅します。

4. 測色ボタンを押し、白点滅が消灯したら、ボタンから指を離さずに左から右へとi1Pro 3を移動します。

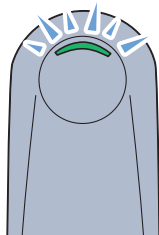
**補足**

- 移動速度は、6パッチ/秒を目安にしてください。次の場合は、測定に失敗することがあります。
- 移動速度が速すぎる、または遅すぎる
  - 移動途中にボタンから指を離れた

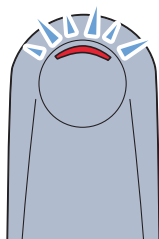
**5. 一番右まで移動したら、ボタンから指を離します。**

測定に失敗した場合は、ダイアログボックスの上部に表示されるメッセージに従って、左端から測色をやり直してください。

測色に成功すると、LED表示が緑で2回点滅します。



測色に失敗すると、LED表示が赤で2回点滅します。



**6. 同様にほかの色も順に測定します。**

測色器用のチャートはマゼンタ、イエロー、ブラック、グレーの順に測定します。

途中で測定に失敗した場合には、失敗した色の列の最初からやり直してください。